

二

二十六年四月四日

總理大臣

法制局長官

大藏省

海軍省

文部省

逓信省

陸軍省

司法大臣

農商務省

大藏大臣請議清國及朝鮮國在留日本
臣民印紙賣捌規程追加ノ件ヲ案スル
以テ客年十月同規程案閣議ニ提出相成
臣ニ於テ審査ヲ遂ケタルニ原案ハ條

法制局長官

本件ハ大藏省提出理由書之通實
際不得止事情ニ有之ニ付請議之通
採用アル方可然

中
高島

理上又經濟上其當ヲ得サルヲ以テ他日
本件請議中ニ在ル如キ不都合ヲ生スル
ノ虞アリト認メタルニ由リ外務大藏兩
主務省ニ向ヒ再三論難ノ上原案ニ修正
ヲ加ヘテ内閣ニ上申シ幸ニ一タヒ内閣
ノ採用スル所ト成リ樞密院ニ諮詢相成
リタルニ其際兩主務省ニ於テハ本局修
正ノ條項ハ削除スルモ事實無差支旨ヲ答
辯シ遂ニ去ル一月六日主務省提出ノ原案
ノ通勅令發布相成リタルモノナリ爾來未

夕三閱月ナラサルニ早ク既ニ事實差支ア
リトテ右勅令ニ改正ヲ加ヘントスルハ實
ニ朝令暮改モ甚シト謂ハサルヘカラス顧
フニ兩主務省ニ於テハ該勅令審議ノ際ニ
於テ既ニ今日ノ如キ場合ニ應スルノ成算
ナカルヘカラス否ラサレハ甚ク疎漏ノ調
査ト云ハサルヘカラス此等ノ諸點ヲモ考
究セスシテ此短日月間ニ於テ勅令ヲ改正
スヘキモノニアラスト認ム因テ本件請議
ハ採用セラレサル方可然

法川局

法部省第九号 三月廿日

乾第一七五二號

並木

印

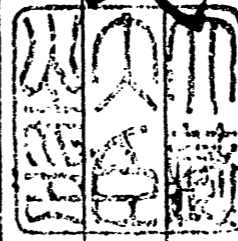
印

清國及朝鮮國在留日本帝國臣民
 印紙賣捌規程追加之件ニ付請議
 本年一月勅令第一號ヲ以テ清國及
 朝鮮國在留日本帝國臣民印紙類
 賣捌規程ヲ發布セラレ候處該規程
 第二條ニ依レハ在清國及朝鮮國
 印紙賣捌人ハ本邦ノ印紙元賣捌
 人ヨリ買受クルノ一途アルノミナレ
 モ印紙
 賣捌人ノ手数料ナルモノハ僅ニ百分ノ
 四ニ過キス故ニ元山、釜山、芝罘、
 如キ
 遠隔且ツ不便ノ地ニアツテハ本邦
 既ニ賣捌人ヨリ印紙ヲ買入ル、為
 二

法部省

送金為替料及印紙ノ運送賃等ニ
少カラサル費用ヲ要シ殆ント收支相償
ハスレテ印紙賣捌ヲ出願スルモノ無之實
際差支ヲ生シ候ニ付是等ハ元賣捌人
ヨリ買受クルト同一ノ割引ヲ以テ領事
館ニ其拂下ヲ求ムルコトヲ得ルノ趣意
ヲ規程第二條ノ但書トシテ追加相成
度別紙勅令案相添此段請閣議
候也

明治廿六年三月三十日 大藏大臣渡邊國武



内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

勅令案

朕清國及朝鮮國在苗日本帝國臣民印紙賣
捌規程中追加ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシ
ム

御名 御璽

年月日

外務大臣
大藏大臣

勅令第 号

清國及朝鮮國在苗日本帝國臣民印紙賣

捌規程第ニ條ニ左ノ但書ヲ追加ス
但印紙賣捌人ニシテ印紙類元賣捌人ヨリ印紙
ヲ買受クルト能ハサシ事情アルトキハ元賣捌人ヨリ
買受クルト同一ノ割引ヲ以テ領事館ニ其拵下リ
求ムルコトヲ得

理由書

現行印紙賣捌規程ニ依リ、在清國及朝鮮國
印紙賣捌人ハ印紙ヲ在本邦印紙類元賣捌人
ヨリ買受クル一途アルニ然ルニ右印紙賣捌手数料
ナルモノハ内地同様僅ニ四分ニ過サレカ故ニ遠隔ノ地
ニ於テハ到底收支相償フヘキ見込ナシトシ、具々其事
情ヲ申出クハナリ、現ニ元山ノ如キハ其一ニシテ別紙
寫ノ通り願出ノ者アルニ至リ、事實無餘儀次第ト
認ム依テ此追加ヲ要ス

明治二十二年三月 元山院外通に於て書す

山ノ縣軍氏

申村幸以 (印)

領事北野字本羅殿

大 藩 省

明治二十二年三月

元山院外通に於て書す (印)

明治二十二年三月 元山院外通に於て書す
領事北野字本羅殿
申村幸以 (印)

大正十一年

明治三十四年三月

経世全集卷之三十一

(七)

海河の流
 雲の影
 空を渡る鳥
 春の風
 花の香
 水の流れ
 月影の輝

大

外

大務大臣提議より先ず口占
と協議の上現ニ青木公使ニ電
訓此 迄タレトモ尚初稿逸致府
ヨリノ申出テトハ頗ル條件ヲ異
ニシタルモノ故ニ政府ハ果シテ
我提議ニ同意スルヤ否今口占
定中ノ件ニ付本閣議中近リ
青木公使ノ回電ヲ待テ確定セ
ラレタシ

外務大臣 光

大務

光

大藏大臣請議清國政府より五月我國に
 拂込ムハキ第二次軍費賠償金ニ関スル件
 右内閣議ニ供ス

大甲一〇〇

明治廿九年四月十八日

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長

外務省	大藏省	海軍省	文部省	逓信省	農商務省	勸業省	議院
内務省	陸軍省	司法省	農商務省	拓殖省			

四

右内閣議ニ供ス

大藏大臣請議清國政府より五月我國に

拂込ムハキ第二次軍費賠償金ニ関スル件

閣